

喜界町



議会だより

169号

平成29年11月20日発行



将来を担う喜界の宝



主な内容

平成28年度決算審査	2
一般会計補正予算	4
一般質問に4名が登壇	6
陳情・同意	11
読者の声・編集後記	12



発行／喜界町議会 編集／議会広報編集委員会
 〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地
 TEL:0997(65)1115-FAX兼用

平成28年度決算審査(総額104億)を認定

平成29年第3回定例会は、9月7日から9月22日までの16日間の会期で開催しました。

初日は、一般質問に4名の議員が登壇。平成29年度一般会計補正予算・特別会計補正予算外2件については各常任委員会に付託した。財政の健全化に関する法律に基づく財政健全化判断比率・資金不足比率について報告があり、平成28年度喜界町一般会計及び特別会

計の決算認定については、決算審査特別委員会に付託した。最終本会議には、平成29年度一般会計補正予算・特別会計補正予算について原案可決し、決算審査特別委員会に付託された平成28年度一般会計及び特別会計の決算については、9月14日・15日の2日間審査の結果全会一致で認定すべきものと決定しました。

決算審査の主な事業の紹介 (H28年度の予算で新たに整備されました)



喜界島港港湾整備工事 4億3000万円

浦原港防波堤

国が定める防波堤高さの基準が改正されたため浦原港の防波堤高上げブロック据え付け工事を行った(志戸桶港等整備)

公共施設再生可能エネルギー導入事業 3100万円



役場庁舎屋上

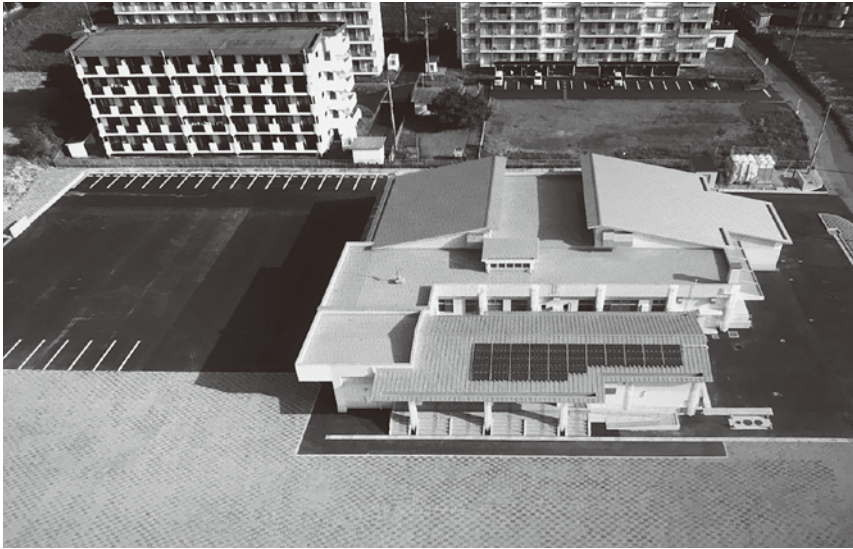
災害時緊急自家発電用として活用する目的

公営住宅整備事業新築工事 1億100万円



宮戸地区E棟第一ホテル近く(湾)

湾宮戸地区の町営住宅の老朽化に伴う建て替え(1棟5世帯)



**防災関連施設建設費
8億500万円**

防災食育センター
給食センターの老朽化に伴う建て替えと、災害時の炊き出しや避難場所として活用するための施設

**簡易水道整備事業工事費
6億2300万円**



西部地区浄水場電気設備（島中）
西部地区の良質な水を供給するための機械設備

**奄美群島農業創出支援
条件整備事業補助金
2330万円**



整備されたトマトハウス（塩道）
奄美群島の園芸促進を目的とした事業
農家3戸で総面積35a

**木のあふれる街づくり事業等工事
1000万円**



スギラビーチのステージ
県内の木材を利用した整備事業
(坂嶺生活館・早町小の机や椅子等を整備)


**道路改良舗装工事
2300万円**



町道37号線（中里）

一般会計補正予算4号、5号 9億6143万追加(総額73億5327万)

補正予算の主なもの

担当課	事業内容	説明	金額
企画観光課	ファームステイ需要等調査業務委託	農家に民泊し農作業や交流を行う観光に取り組むための需要調査費	210万円
	ファームステイWEBサイト作成等業務委託	情報発信のためホームページ作成費	200万円
	地域おこし協力隊起業支援補助金	地域おこし協力隊がゲストハウスを創るための空き家改修補助金	100万円
			
		ファームステイの様子	花良治集落のゲストハウス
総務課	交通安全対策費原材料費	ロードミラー修繕費 修繕箇所・島中、中里ふくり前 等計5か所 新規設置・中里スギラ、バス停前、白水、早町等 計6か所	100万円
	最高齢者報奨金	“田島ナビ”さんへの御祝い金	100万円
			
		ナビおばーの地元荒木集落にはお祝いの垂幕	壊れたロードミラー
保健福祉課	母子保健事業費備品購入費	すこやかセンター空調購入費	190万円
	地域介護・福祉空調整備等施設整備事業交付金	旧坂嶺小跡の「小規模多機能施設十五夜」の sprinkler 設置費	388万円
	放課後児童クラブ運営事業費備品購入費	児童数増による空調購入費	111万円

担当課	事業内容	説明	金額
住民課	環境影響調査等委託料	クリーンセンター周辺、環境への影響調査費	2000万円
農業振興課	基本設計委託料	さとうきび用トラッシュ除去機械(デトラッシャー)更新の設計費	145万円
	農業用施設災害復旧工事費(台風5号被害分)	畑の法面・農道の修繕(町内60ヵ所)	1億7300万円
	9月豪雨災害復興費	畑の法面・農道の修繕(町内84ヵ所)	5億2400万円
建設課	水産業振興費	早町漁港待合所の解体費	1830万円
	道路災害復旧費	塩道当原2号線・平家森～阿丸線等計4ヵ所の復旧費	7000万円



崩壊した用水路(塩道)



海に土砂が流れ込む(手久津久)



土砂崩れのムチャカナ近く農道(小野津)



道路も冠水(池治)



観光名所一本道も崩壊



さとうきび畑も冠水

一般質問

町政のことが聞きたい

第3回定例会で4名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。
質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する
良岡 理一郎 議員

町施設の設備・機器等のメンテナンスは町内事業者が望ましい

【質問】

6月から庁舎内の一部エリアの空調設備が使えない事態が8月中旬まで長期に及んだ。町民が不自由を余儀なくされ、しかもその修理が完全でなく、再び故障するという事態も起きた。大規模災害時には庁舎対策本部が置かれ町民の避難場所として使われる。

【質問】

長期に渡って修理できなかった理由は何か。

【答弁】
(総務課長)

当初、島内の事業者修理依頼したが、故障箇所が判明せず庁舎建設時に設置した島外の事業者依頼す

ることになり来島に時間が掛かった。大規模修理の為機材や部品の手配に時間が掛かったことも原因。

【質問】

役場の建物も建設後10余年を経過し、設備、器具・備品の中には耐用年数を超える物もあると思われる。長期視点でのメンテナンス計画が必要ではないか。

【答弁】
(総務課長)

事業者との保守契約の締結を検討している。

【質問】

発生した事故やトラブルの緊急性、重要性からメンテナンスのスキルは町内の事業者に蓄積しておくべきと思うが如何か。また、役場で発生する需要は町内で賄う観点からも町内事業者の育成は大切だと考える。

【答弁】
(総務課長)

町施設の設備・機器等のメンテナンスは島内事業者で賄える形が好ま

しいと考えている。事業者のスキル蓄積は、各事業者の企業努力によって行われるものであるため、事業者に要望していく。

シカ16頭を捕獲・駆除 いっそう対策強化する

【質問】

シカの被害が報告されてから1年を経過しているが、未だ解決の見通しが立っていない。小鹿の目撃情報も増加しているのではないかと不安が残る。

また、被害はサトウキビの新芽、かんきつ類の樹皮にとどまらず新たに牧草の被害も確認されている。

さらに、野生化したシカは病気、寄生虫、ダニを持っている可能性が高い。増えすぎたシカはエサを求めて民家や牛舎に接近する。それらのシカを介して同じ偶蹄類の牛や山羊に感染するリスクがある。

【質問】

この間の駆除実績について駆除の人的態勢と駆除方法（わな、散弾銃

やライフルなど）。オス、メス、子別駆除数。集落別特徴は。

【答弁】
(農業振興課長)

猟友会がワナを使用して駆除しており、現在オス9頭、メス7頭、合計16頭の捕獲実績。そのうち小鹿が6頭。集落別には志戸桶、小野津、白水、佐手久、滝川で捕獲している。

【質問】

駆除の確認は実物。

【答弁】
(農業振興課長)

捕獲した写真のほかに、シカの尻尾を提出いただいている。

【質問】

現在の生息数はおよそ何頭か。

【答弁】
(農業振興課長)

正確な頭数については根拠がないため把握できていない。

【質問】

専門家から今の駆除スピードでは

遅いとの指摘もある。駆除を急ぐためワナの狩猟免許取得者の増員が急務である。対策を伺いたい。

【答弁】（農業振興課長）

猟友会と検討しつつワナの購入個数を増やし、ワナ狩猟免許資格取得者の確保について猟友会と調整していく。

【質問】 駆除の報酬費（国の補助金＋自治体負担）は他の自治体に比べて低い。改善が必要ではないか。

【答弁】（農業振興課長）

シカ成獣1頭当たり国補助金8000円に町から2000円上乗せしているが他の自治体と比べて高くない。今後も猟友会と検討していく。

特別養護老人ホーム「喜界園」は 民営化が望ましいのか

【質要】

現在、執行部は民営化ありきで検討を進めているが、その必要性がまったく伝わらない。喜界園は経営も安定しており町民の貴重な財産である。

これから団塊世代が75歳以上の後期高齢者を迎える2025年問題が待ち構えている。利用者から感謝の声こそ聞こえてくるが民営化を求め

る声は一切ない。今、喜界園は10余名の待機者の入所に努力し、サービスの向上に尽力することではないか。特別養護老人ホーム待機者ゼロの島を目指すべきではないか。

【質問】

喜界園は民営化ありきで審議されているが民営化の理由を伺う。

【答弁】（老人福祉施設長）

喜界町行財政改革大綱に基づき、計画的に進めている。介護職員等の

処遇改善や人材の確保・育成の課題は、より専門的な技術と経営ノウハウを有する民間事業者に委ねることで迅速な対応が可能。民間事業者の先駆的サービスの実施で高齢者福祉の向上も期待できる。

【質問】

老人福祉施設事業特別会計の基金積立額はいくらか。

【答弁】（老人福祉施設長）

現在約2億1374万円である。

【質問】

町民への説明会が必要と思うが今後の日程を伺う。

【答弁】（老人福祉施設長）

これまで入所者のご家族や民生委員への説明会を実施。今後は民営化検討委員会で基本方針が策定され次第、議会や関係者への説明会を開催する。

町民へは広報誌でのお知らせを検討する。



質問する
野間 弘也 議員

喜界町の将来設計、担い手育成 課題・10年先見据えた取り組みは

【質問】

学校教育、地域教育における今後3年間の課題。

【答弁】（教育長）

「故郷と自らの未来を開く教育」の推進を基本理念に掲げ教育行政を進めている。

課題は、自主的学習態度の育成及び思考力、判断力、表現力の育成が挙げられる。また、地域での挨拶運動や子ども会リーダーの育成なども挙げられる。

地域からは子供たち、小中高校生の地域行事や美化活動への参加がよくなってきているという声も聞いている。

【質問】

学校教育、地域教育における今後10年を見据えた取り組み、具体的施策。



喜界園

【答弁】（教育長）

具体策として、昨年度から小中高
校生の漢字検定、中高校生の英語検
定やその他検定試験、また夏休みに、
中高校生のアメリカ研修派遣など全
額補助で実施している。

また喜界高等学校生に入学祝金を
支給している。その他に、国公立大
学等に進学した生徒の入学金等も支
給している。

【質問】

中高一貫教育の強化・新たな学科
創設の考えは。



島の子供達に多くの夢を

【答弁】（教育長）

高等学校の新たな学科新設につい
ては意見があったということは伝え
たい。

【質問】

農業・産業振興の今後3年間の課
題。

【答弁】（町長）

本町の最大の課題は人口減少、高
齢化の進行これに対する施策は必要
だ。それは、働く場、農業の振興、
新たに観光の振興にも取り組んでい
く。

もう一つは、人材をどう育てるか。
福祉、医療関係、また農業大学校へ
の進学者に奨学金を出し、本町に就
職すると免除するなど、島の人が持
っている人材の強化が課題である。
現段階では産業振興や人口を減らさ
ないための対策を打ちつつ、どのよ
うな世界情勢になろうとも島が一定
の自立ができることが必要。

そのために、隣近所の結いや、自
給自足など町民と共に考えることが
課題。

【答弁】（農業振興課長）

本町は限られた耕地面積なので、
一筆の圃場での売り上げ、農家収入
の向上が課題。

サトウキビについては、安定総合
操業量8万トンを確保した上で、畜
産や園芸を交えた複合経営の推進が
必要。



複合経営で農家所得の向上を目指す

【質問】

10年後を見据えた取り組み*ハー
ド面の整備は。
*ハード面とは、施設の整備等形になる
こと

【答弁】（町長）

ごみ焼却施設は耐用年数が過ぎ、
毎年数千万のメンテナンス料が掛か
る。これは急がなくてはならない。
それからさとうきびのトラッシュを
除去する装置、これも喫緊の問題だ。

【答弁】（農業振興課長）

土づくりの観点から堆肥センター
の整備また、加工センター、営農支
援センターの機能の維持、強化が挙
げられる。



農業体験・青年クラブとの交流(将来の担い手に期待)



新たな加工品の開発を目指す(加工センター)

また加工センターで開発した加工品をいかに加工業者などから商品化させるか、あるいは規格外や台風の影響で出荷できない作物を加工品としてどのような可能性があるのか、実現に向けて検討を行う必要がある。

担い手育成は営農支援センターや農家での研修制度を生かした人材の確保、農業体験として青年クラブなどが行っている小中高生などを対象とした体験ツアーなどへの活動支援も積極的に行っていく。

農業と教育、観光、福祉の連携についても、具体的な取り組みを検討していく必要がある。

【答弁】 (生涯学習課長)

陸上競技場、野球場を含む体育施設は、これまで耐震補強や改修工事等で施設、設備の延命に努めてきた。いずれ新たに整備しなければならぬが、スポーツ合宿誘致促進の観点からは、企業がスポーツチームを維持できないという状況下で、休部、廃部が顕著であることから今後の動向等を注視しながら取り組む。

文化ホールの整備については、町民から必要性を訴える声がある。町民生活に直結した事業を優先し財源等を考慮しながら、今後検討する。



質問する
上間 一寛 議員

【質問】 学校跡地について

平成24年3月学校再編により、惜

しまれながら町内全ての小中学校、幼稚園が長い歴史に幕を閉じた。学校としての機能がなくても、地域の灯を消さないため、学校跡地については検討委員会が地域住民の意向、利用を優先に進めてきた。・旧滝川小学校跡地は、埋蔵文化財管理事務所及び展示館・旧阿伝小学校跡地は、潤命草の加工準備施設・旧坂嶺小学校跡地は、小規模多機能型住宅介護事業所十五夜・旧小野津小学校跡地は、宿泊体験学習施設・旧早町小学校跡地は、喜界島サンゴ礁科学研究所・旧志戸桶小学校跡地は、誘致企業株式会社南西テレワークセンター・旧荒木小学校跡地は、喜界潤命草が受入れ体制の整備、販路拡大等を目指し新たな拠点として使用している。

【質問】

公有財産、学校跡地について跡地利用7施設の現在の運用状況について

て伺う。

【答弁】 (総務課長)

阿伝小学校の潤命草生産の組合員数、平成26年度が36名、27年度が36名、28年度が30名。面積は26年度が230アール、27年度が265アール、28年度が240アール生産している。

荒木小学校は、現在事業は行っていない。

志戸桶小学校の南西テレワークに關しては28年度4月に開所して29年8月現在、管理者が1名、在宅ワーカー登録者23名。

小野津小学校の学校跡地は宿泊体験学習施設として活用している。

【質問】 公園整備について

町長は、施政方針の中で各公園施設や公営施設については、快適かつ安全で利用者全ての方々に親しまれ、愛される施設を念頭に適正かつ計画的な管理運営を図ってまいりますと述べている。

手久津久集落の公園は昨年、遊具等も再整備され、そこには子供連れの親子が連なって利用している。できればもっと広い場所、遊具が十分整った遊園地らしきものが整備されると、子育ての環境づくりができる

と思うが町長の具体的な計画はあるか。

【答弁】 (企画観光課長)

各公園整備の実施年度の計画や補助事業の選定及び予算について、課内や関係各課と協議を進めてきた。本年度は、空港臨海公園の遊具の改修を計画している。また、農業振興課の木のあふれるまちづくり事業で一千万円の予算を計上し、空港臨海公園のバスケットコート奥の舗装予算も計上している。



サンゴ研究所(旧早町小)



質問する
榮 哲治 議員

農業振興について

【質 要】

本町の農業情勢は、農業人口の減少や高齢化の進展等で大変厳しいと
きを迎えている。昨年は大きな台風
の接近もなく気象条件に恵まれたこ
とから、基幹作物のサトウキビが6
年ぶりに豊作となり、約9万500
トンの生産量となった。

また、子牛価格も史上最高水準で
推移し、サトウキビが約21億120
0万円、子牛価格が約9億1700
万円の販売額となり、基幹作物のサ
トウキビと畜産で販売実績が約30億
2900万円となった。園芸作物で
は、カボチャが約6600万円、新
規作物のプロッコリーが約2800
万円、トウガラシが約1400万円
の販売実績を上げており、これから
も大きく伸びる要素が期待されてい
る。営農支援センターがフルに機能
しているのが最大の要因だと考える。
そこで、本町の農業所得を向上さ
せるためには、園芸振興を強力に推
し進める必要がある。そのためには、

水の確保と地力増進、つまり土づく
り、それと支援が欠かせない。そこ
で、次の2点について町長の見解を
伺う。

【質 問】

堆肥センター建設の計画はどのよ
うに進んでいるか。

【答 弁】

(農業振興課長)

堆肥センター建設の予定について、
事業採択に向けての計画書の作成を
平成30年度に予定している。今年度
はそれに向けて先進地の視察や、講
師を招聘しての研修会、あわせて試
験堆肥の作成等計画。今回の災害
を受けて今後、進捗に多少影響が出
ることも考えられる。

【質 問】

資材関係等の補助事業である地域
園芸活性化事業を今後どのように進
めていくのか見解を伺う。

【答 弁】

(農業振興課長)

地域園芸活性化事業の見通しにつ
いて、この事業は過疎債のソフト事
業の枠内の中で予算を確保している。
昨年度は、土づくり支援、栽培資材
の助成支援、新規就農者支援、栽培
施設の設置支援などを行っており、
今年度も計画どおりに実績を積み上

げ、来年度以降も予算の確保に努め
る。



伊佐市にある堆肥センター

スポーツ振興について

【質 問】

旧二中跡地に野球専用グラウンド
の建設はできないか。

【答 弁】

(生涯学習課長)

野球専用グラウンドの建設につい
て、既存の施設整備については平成
26年度、総合グラウンド夜間照明の
増設、平成27年度、荒木バックネッ
ト取り付け工事をしている。このよ
うに施設、設備の延命に取り組んで
きている。

旧学校跡地利用の課題は、住民生
活に直結する事業を優先に取り組ま
なければならぬこともあり、早急
な野球専用グラウンドの建設は考え

られない。



沖縄の国頭球場

次回定例会

次の議会は、12月上旬を
予定しています。

午前 9:30

皆様の傍聴をお待ちしています。

●お問い合わせ先 65-1115

◆ 陳情の審査結果 ◆

提出者	件名	所管委員会	審査結果
NPO法人喜界福祉ネットゴマ畑 地域活動支援センターⅢ型ほっと館 理事長 得本 拓	障がい者のバス利用料金を高齢者並みに引き下げをを求める 陳情	産業福祉	採 択
新潟県村上市 全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣 一徳	全国森林環境税創設に関する陳情	総務文教	採 択
鹿児島県商工会連合会 会長 森 義久 喜界町商工会 会長 朝崎 福利	「小規模企業の振興に関する条例」 制定及び商工会に対する平成30年度補助金等に関する要望	総務文教	採 択

採択された陳情は、意見書として関係省庁に提出しその実現を要望しました。

同 意

● 喜界町名誉町民の選定

名誉町民
田島 ナビさん
117歳
(明治33年8月4日生)



県知事から表彰を受ける田島ナビさん

● 教育委員の任命

教育委員会委員
作井 武俊氏



任期は、
平成29年9月25日から
平成33年9月24日

議会のうごき(8月～11月)

9月1日

喜界町議会運営委員会

9月7日

第3回喜界町議会定例会(一般質問等)

9月10日

喜界高校体育大会

9月10日

東京喜界会70回記念総会・芸能祭(東京都) 議長

9月17日

喜界中学校体育大会

9月24日

喜界小・早町小運動会

10月8日

第55回町民体育祭

10月15日

あゆみ・のぞみ幼稚園運動会

10月24日

鹿児島県戦没者追悼式(鹿児島) 議長

11月21日

離島振興市町村議会議長全国大会(東京) 議長

11月22日

町村議会議長全国大会(東京) 議長

11月26日

島内一周駅伝大会

読者の声

平成23年の春に家族を連れて島にUターン移住した。自分で言うのも何だが、この6年余り、島と正面から向き合いながら毎日過ごしてきたつもりだ。その間、色々な面でこの島は大きく変化したように感じる。まず、喜界島の知名度の上昇だ。今や移住したい島の全国ランキングで上位に入るまでになった。これも、島民をはじめ島関係者などの日頃の努力の賜物だと思う。今後は、更に来島人口の増加が期待されるであろう。大変有難い話である。

その反面、大きな問題も目の前に立ちはまだかかっている。それは、もの凄い勢いで進む島内の人口減少である。どんなに良い地域であろうと「人」が居て初めてそれは成り立つと、個人的には思っている。ここ数年で、喜界島へUターン・Iターン移住してきた「やる気と力のある若い世代」が、また島外へ出てしまうのを何度も見てきた。その度に、島民の一人として色々考えさせられる。そして、思う。

今、この議会だよりを読んでいる「私たち世代」は、現時点で次世代やこれから産まれてくる未来の世代にどんなバトン(世の中)を渡せるのだろうか。それが、島民も来島客も皆さんが喜ぶ「希望に溢れたバトン」である事を願って止まない。

さあ、皆さん。

どんなバトン(世の中)が良いですか？

小野津集落 西徹彰

編集後記

8月の台風5号、9月の記録的な豪雨と50年に一度の大雨に二度も見舞われ、町民生活は多大な被害をこうむりました。被災された方々にお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧に向け行政と共に取り組んで参ります。

さて、今回から議会便りを新致しましたが、いかがでしたでしょうか。ぜひ、皆様の声をお聞かせ下さい。

今後より良い町政、読みやすい議会だよりを目指し精一杯取り組んで参ります。

文責 河上 弘仁



議会広報委員会

委員長 生駒 弘

副委員長 河上 弘仁

委員 良岡 理郎

委員 野間 弘也

委員 峰山 恵喜光

委員 榮 優太